

# 日立市地域福祉推進計画2019の最終評価に伴うアンケート結果

## I 調査概要

1 回答者数			
インターネットモニター	各個人に調査への回答を依頼	230人	34人

  

2 調査期間
令和5年4月14日から令和5年5月31日まで

## II 調査結果

### 1 回答者の属性

① 性別 単位：人

男性	女性	無回答
26	8	-

② 年齢 単位：人

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
-	-	2	2	7	11	12	-

③ 職業 単位：人

会社員・ 公務員	自営業	家事専業	パート・ アルバイト	学生	無職	その他
11	4	2	4	-	13	-

④ 世帯の構成 単位：人

ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子	3世代	4世代	その他
3	16	12	3	-	-	-

⑤ 住まいの種類 単位：人

持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）
30	1	-	2

公営住宅	社宅・寮	その他
-	1	-

⑥ お住まいのコミュニティ

単位：人

十王地区コミュニティ推進会	2
豊浦学区まちづくり推進会	2
日高学区市民自治会	2
田尻学区コミュニティ推進会	1
滑川学区コミュニティ推進会	1
宮田学区コミュニティ推進会	3
中里学区コミュニティ推進会	-
仲町学区コミュニティ推進会	-
中小路学区コミュニティ推進会	-
助川学区コミュニティ推進会	2
会瀬学区コミュニティ推進会	2
成沢学区コミュニティ推進会	2

油縄子学区コミュニティ推進会	1
諏訪学区コミュニティ推進会	3
大久保学区コミュニティ推進会	2
河原子学区コミュニティ推進会	0
埴山学区住みよいまちをつくる会	1
大沼学区コミュニティ推進会	-
金沢学区コミュニティ推進会	5
水木学区コミュニティ推進会	2
大みか学区コミュニティ推進会	1
久慈学区コミュニティ推進会	-
坂下地区コミュニティ推進会	2
わからない	-

⑦ 日立市に住んでいる年数

単位：人

1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上
-	2	-	2	30

各施策の評価点

調査区分	評価点（平均点）	
	I 認知度	II 満足度
①相談窓口の充実	3.26	3.85
②サービス利用に関する情報提供	4.41	4.21
③支援が必要な人の把握と支援体制の充実	3.15	3.79
④地域交流・居場所づくりの推進	3.79	4.06
⑤人権や福祉に関する啓発	2.71	3.65
⑥生活困窮者対策・セーフティネットの充実	3.18	3.91
⑦支援が必要な人の把握と支援体制の充実	3.26	2.82
⑧小地域福祉活動を推進するための 組織体制の強化・人材確保	3.21	3.88
⑨要支援者を支える個別支援体制の強化	3.53	3.88
⑩関係機関の連携による個別支援体制の強化	3.91	3.03
⑪ボランティア・NPO 活動に対する支援	3.03	4.03
⑫関係団体との連携	3.11	3.82
⑬日立市社会福祉協議会の基盤強化	3.26	3.56

## 自由意見の主なもの

### (1) 「あんしんして暮らせるしくみづくり」について

#### ア 相談窓口の充実に関すること

- ・職業相談について、紹介できる職業に限りはあると思うが、本人の意思をできるだけ尊重すべきと考える。

#### イ サービス利用に関する情報提供に関すること

- ・市の取組を学校などで講演してみてもどうか。保護者も参加できる講演会開催が良いと思う。(40代・女性)
- ・取組に関わっている人は内容が分かると思うが、そうでない人は取組内容については分からないと思う。(70代以上・女性)

#### ウ 災害時の協力体制の充実に関すること

- ・災害時に安全に避難するため、普段から自宅周辺の様子を観察しておく必要があると思う。(70代以上・男性)
- ・個人情報の保護によって、要支援者の個人情報の扱いが難しくなっていると感じる。(60代・女性)

### (2) 「地域住民としての絆づくり」について

#### ア 地域交流・居場所づくりの推進に関すること

- ・福祉の出前講座を行っていると聞いているが、団体からの要望を待つのではなく、積極的に福祉についての啓発活動を行っていくべきと考える。(50代・女性)

#### イ 人権や福祉に関する啓発に関すること

- ・人権、福祉に関する啓発活動にもっと注力した方が良いと考える。

(70代以上・男性)

### (3) 「自立した暮らしを支える環境づくり」について

#### ア 生活困窮者対策・セーフティネットの充実に関すること

- ・食品を受け取りたい方が使いやすくしていく必要があると考える。(60代・女性)

#### イ 支援が必要な人の把握と支援体制の充実に関すること

- ・成年後見サポートセンターについての広報が必要と考える。(50代・女性)

#### (4) 「地域福祉を支えるしくみづくり」について

##### ア 日立市社会福祉協議会の基盤強化に関すること

- ・募金の使い道や目的の説明が不足していることで理解が得られず、集金に苦労している。(70代以上・男性)

##### イ 関係団体との連携に関すること

※意見無し

##### ウ 小地域福祉活動を推進するための組織体制の強化・人材確保に関すること

※意見無し

##### エ 関係機関の連携による個別支援体制の強化に関すること

※意見無し

##### オ 要支援者を支える個別支援体制の強化に関すること

- ・地域包括ケアは、高齢者や障害者が住み慣れた地域で暮らして行くことを目指しているが、実際にその人に合った暮らしができていないか分からない。(50代・女性)

##### カ ボランティア・NPO活動に対する支援に関すること ※意見無し

#### 日立市の地域福祉全般について

##### 地域福祉に関する情報共有・さらなる理解が必要

- ・市民がいつまでも安心できる福祉のまちづくりのために、地域福祉に関する取組の認知度を高めてほしい。
- ・必要性を感じたことがなかったためか、地域福祉の活動が生活とどのような関係があるのか、どのような場合に必要になるのか全く分からない。分かりやすい説明があると良い。
- ・地域福祉についての教育を大人へも子どもへもしっかり行うべきだと考える。
- ・学校教育の中で福祉に関する取組について学ぶ機会を増やした方が良いと考える。
- ・市の活動は十分だと思うが、地域住民が地域福祉に関心をもって生活してほしい。

##### 地域のつながりの強化が必要

- ・十分な地域福祉活動であるよう、市・市社協・地域が協働し合って活動すること、地域コミュニティがしっかりしていてよかったと地域の人たちが思えるような活動ができることが必要。
- ・何かあった時に気軽に声をかけられる関係の人が近所にいるのは良い。
- ・町内会等内での顔合わせする機会が少なくなり、繋がりが薄くなっているように感じる。

##### 地域の担い手の確保が必要

- ・民生委員のなり手がいないので、若い方に協力してほしい。
- ・ボランティアに頼った活動では形だけの取組になってしまうのではないかと心配である。
- ・地域活動の担い手の確保が必要と考える。

- 民生委員、ボランティア等なり手が減ってきているので、福祉に関する啓発活動がさらに必要になると考える。

#### その他

- 高齢者支援は、高齢者同士での支援が整ってきていると感じる。
- 子どもが少なくなり、母親や子供が家の中で過ごし、外に出ない状況が心配である。お金の支援だけでなく、子どもが遊べる場所がほしい。
- 高齢者への支援は充実していると感じるが、障害者や高齢の親と無職の子どもへの支援が充実しているか分からない。
- 地域福祉についてよく知らない。
- 高齢で車の運転ができない方の移動支援について考えていただきたい。